

第5回舞鶴市医療機能最適化検討会議（概要版）

1. 開催概要

日時：令和7年2月4日（火）19:30～20:45
 場所：舞鶴市役所 中会議室

【参加メンバー：8名】 ※事務局：舞鶴市地域医療課

舞鶴医師会 会長	隅山 充樹	舞鶴医療センター 院長	法里 高
舞鶴共済病院 病院長	沖原 宏治	舞鶴赤十字病院 院長	片山 義敬
舞鶴市民病院 病院長	重見 研司	京都府立医科大学 医療センター所長兼北部キャンパス長	加藤 則人
舞鶴市長	鴨田 秋津	舞鶴市地域医療政策アドバイザー	井上 重洋

【第5回会議の概要】
 1月26日に開催した地域医療シンポジウムを踏まえ、今年度のとりまとめを行った。
 地域医療シンポジウムのアンケート結果等から、舞鶴市医療機能検討会議でまとめた今後の医療提供体制の方向性（公的病院の再編・統合が必要）については9割近くの方が肯定的に受けとめられたこと、現場で従事する職員の声等も踏まえ、今後は公的病院の再編・統合を見据えた詳細シミュレーションを実施していくことを改めて確認した。

2. 報告（地域医療シンポジウム） ※別途概要版資料あり

（1）開催概要

日時 令和7年1月26日（日）13時00分～15時30分
 場所 舞鶴市商工観光センター
 次第

- 基調講演「京都府における地域医療の現状と課題：大学の役割」
京都府立医科大学 夜久均学長
- 経過説明「舞鶴市における地域医療の確保に向けた取り組み」
舞鶴市長 鴨田 秋津
- Q&Aセッション（会議メンバー全員登壇）
- 質疑応答

参加者 261名

（2）基調講演（夜久学長）

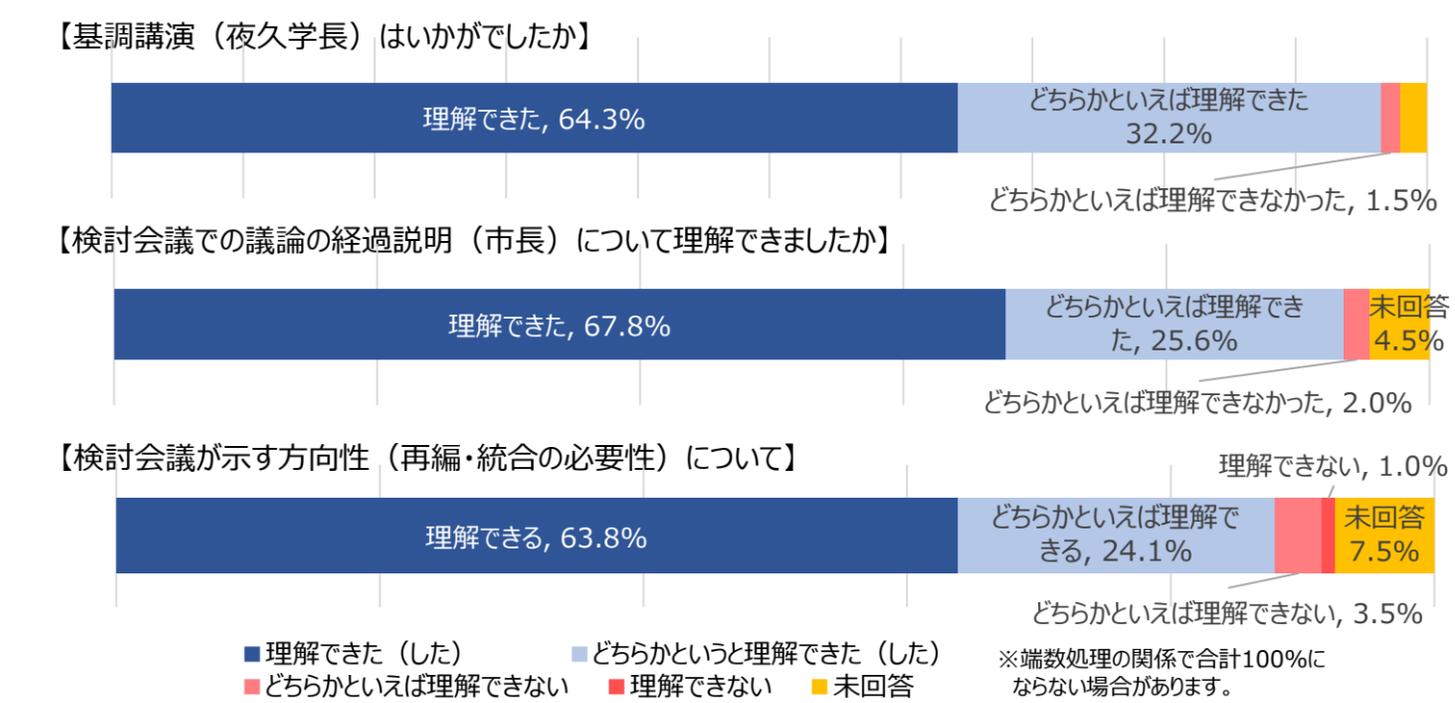
日本全体で進む人口減少や少子高齢化に伴う医療需要や病床機能への対応についてデータを用いながら説明いただくとともに、医療資源が分散している舞鶴市の現状課題を踏まえ、公的病院を集約し医療資源を集中させることで、舞鶴地区で完結する医療を目指していくべきとの考えが示された。

（3）経過説明（鴨田市長）、Q&Aセッション（会議メンバー）、質疑応答

鴨田市長から、今後の医療提供体制として想定される5つの公的病院の再編・統合パターンを示し、医療機能最適化検討会議としてこの考えに至った経過を説明した。
 Q & Aセッションでは、会議メンバーが登壇し、それぞれのパターンに対する見解を伝えた。その後、来場者からの質疑応答を行った。

（4）地域医療シンポジウム アンケート結果

回答数 199名（回収率76.2%）
 ※うち医療従事者90名、非医療従事者97名、未回答12名



3. 今年度のとりまとめ

（1）地域医療シンポジウムを終えて

舞鶴市医療機能最適化検討会議では、公的4病院を取り巻く現状・課題、今後の医療需要等を踏まえ、質の高い医療の実現、医療人材の確保、病院経営の効率化には、公的病院の再編・統合が必要であるとの考えに至り、舞鶴市における持続可能な医療提供体制として、想定される5つのパターンを抽出した。
 この間、検討会議の経過については、市ホームページ等を通じて情報発信に努めるとともに、公的病院スタッフへの説明や、住民との意見交換会、地域医療シンポジウム等を通じて説明し、多くの市民からご意見を伺う中で、検討会議として考える今後の方向性については、早期に進めることを求める声は非常に多く、各種アンケート結果からも一定の理解を示していただいたと認識。

5つの再編・統合パターン	
パターン1	現状維持（4病院）のまま
パターン2	4病院のまま経営の一体化
パターン3	4病院のまま機能再編
パターン4	東2病院のまま、西1へ統合
パターン5	東1へ統合、西2のまま
パターン6	東1西1へ統合
パターン7	東1西1へ統合、経営の一体化
パターン8	4病院→1病院

（2）今後の予定

公的病院の再編・統合を視野に入れた詳細シミュレーションを行う。
 将来見込まれる医療需要を見据え、舞鶴市における質の高い医療の実現と、医療人材の確保、そして経営効率の向上の観点に加え、大学や京都府など関係機関との調整も図りながら、「医療機能の再編・統合形態」「医療機能の集約場所」「病院の運営主体」に関する合意を目指す。

【参考】舞鶴市医療機能最適化検討会議の開催経過

1. 参加メンバー（8名）

舞鶴医師会 会長	隅山 充樹
舞鶴医療センター 院長	法里 高
舞鶴共済病院 病院長	沖原 宏治
舞鶴赤十字病院 院長	片山 義敬
市立舞鶴市民病院 病院長	重見 研司
京都府立医科大学医療センター所長 兼北部キャンパス長	加藤 則人
舞鶴市長	鴨田 秋津
舞鶴市地域医療政策アドバイザー	井上 重洋

（事務局）舞鶴市健康・こども部健康総合対策室地域医療課

2. 開催経過

時期	検討会議など
	（令和5年度 持続可能な地域医療を考える会）
6月	第1回会議（キックオフ、オープンデータ分析等）
8月	第2回会議（データ分析結果等）
9月	公的病院医師・看護師アンケート
10月	第3回会議（再編・統合パターン案の絞り込み） 京都府立医科大学学長への経過説明 公的病院医療技術職、病院スタッフアンケート
11月	（各病院本部への経過説明）
12月	第4回会議（報告事項、パターン、シンポジウム等について） 病院職員説明会（各病院にて開催 計274名参加） 住民との意見交換会（2ヶ所で開催 計109名）
1月	地域医療シンポジウム（261名参加）
2月	第5回会議（今年度のとりまとめ）
今後	（詳細シミュレーション）

※各会議終了後、京都府や京都府立医科大学など関係機関に随時経過説明を行った

舞鶴市における持続可能な医療提供体制の実現に向けた協議開始に係る基本合意書の締結

1. 概要

舞鶴市における持続可能な医療提供体制の実現に向け、公的4病院の再編・統合を視野に入れた詳細検討を進めるため、舞鶴市及び公的4病院長が基本合意書を締結した。

（主な検討内容）

舞鶴市に求められる医療機能を踏まえ、医療機能の再編・統合形態、医療機能の集約場所、病院の運営主体について、できるだけ早期に合意することを目指す。

2. 締結日時・場所

令和7年2月21日（金）18時00分 於：舞鶴市役所

3. 締結者

舞鶴市長	鴨田 秋津
舞鶴医療センター 院長	法里 高
舞鶴共済病院 病院長	沖原 宏治
舞鶴赤十字病院 院長	片山 義敬
市立舞鶴市民病院 病院長	重見 研司

